



# 大浜第二病院 広報誌

おもとよみの杜 大浜第二病院  
〒901-0215 沖縄県豊見城市字渡嘉敷150  
TEL 098-851-0103  
FAX 098-851-0200  
URL : <http://www.omotokai.or.jp/ohama2/>

発行

2021年  
春号



# おもと



とよみの杜本館の正面玄関を出て、右側に進むと駐車場へ向かう山沿いの遊歩道があります。その遊歩道沿いの花壇には、色鮮やかな草花が元気に咲いています。遊歩道の入り口には、トックリヤシの木（写真中央上）とペゴニアの花が迎えそのまま進んで行くと、白や紫色したキク科の花「ガザニアやマーガレット」達が、さらに写真右下部分の赤や白、ピンク色したゼラニウムの花には蝶々がとまり、美味しそうに蜜を吸っています。ゼラニウムは花色によって花言葉が変わりますが、ゼラニウム全般の花言葉は「尊敬・信頼・真の友情」。開花時期はとも長く3月～12月頃まで花を咲かせ、とても育てやすい植物です。又、島とうがらし・トマトなどいろいろな草花が植栽されています。沖縄では、最も過ごしやすいとされる、うりずんの季節です。とよみの杜を御利用の際や通勤・帰宅時におすすめの遊歩道を散策して春の季節を楽しんでみませんか？

環境整備課 古堅 宗尚

## 大浜第二病院基本理念

- ① **社会貢献**  
患者様・ご家族の安全、安心、納得、満足頂ける医療を提供する。
- ② **人材育成**  
医療人としての心・知識・技術を育み、日々研鑽を積む。
- ③ **全人間的医療**  
人の尊厳と自己決定の原則に基づき、その人にふさわしい生き方を共に考える。
- ④ **在宅支援**  
地域包括ケアシステムの中核として、リハビリテーション活動を展開し、患者様の自立支援と在宅医療を推進する。

# 「フレイル」を 知っていますか？

医師 中村 紀彦



フレイルとは状態を表す言葉です。心身の機能（筋力ばかりではなく、他者との交流を求める活力も入ります）が低下し、介護を必要とする状態へと進行しつつある状態を言います。

フレイルの特徴は、上記の状態が複合的な要因で、相互に他の要因を悪化させていることです。例をあげると、脳卒中などの後遺症（身体的問題）は、気持ちの落ち込みや意欲の低下（精神・心理的問題）、そして、閉じこもりや経済的困窮（社会的問題）と互いに関係し合って深まります。その結果、要介護状態へと向かう（フレイル）のです。

「自分は若くて元気だから大丈夫」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、フレイルは、高齢期に達する前から注意が必要です。英語ではフレイルは、frailty と言って、虚弱と訳しますが、上記したように、身体的なイメージだけではないことに気をつけましょう。現在日本では、フレイルになってしまった人と、フレイルになりそうな人を合わせると 450 万人（推定）です。「心身の機能に衰えがないか」を定期的にチェックしてフレイルの予防と対策が必要です。

フレイルの自己チェックをしてみましょう。

次の 5 つの項目のうち、1～2 つ当てはまればフレイルになる危険性があります。3 つ以上の方は、フレイルです。①握る力の低下②体重低下（半年で 2～3Kg 以上）③活動性低下④疲労感が多発する⑤歩行速度低下。ひとつでも当てはまるものがあれば、ご自分で生活習慣の改善に取り組んだり、お近くの地域包括支援センターに相談してみましょう。フレイルは予防、改善、あるいは、健康な状態に引き返すことは可能なこともあります。そのためには早い時期に生活習慣を見直すことが大切です。地域包括支援センターではフレイル予防の取り組み事業、運動教室などの情報を提供しています。

最後に「オーラルフレイル」という言葉を紹介します。嚥む・飲み込む・話すといった口腔機能が衰えることを言います。オーラルフレイルは食欲低下や低栄養の原因になるだけではなく、他者との交流に不安を感じて心理面にもダメージを与えます。お口の健康も若いうちから守りましょう。

## 部署 紹介

# 医局

医局 摩文仁 克人



大浜第二病院医局では田中院長、我謝副院長以下計 9 人の医師で日々奮闘し、回復期リハビリテーション / 療養 / 特殊疾患病棟の入院患者様、及び特別養護老人ホームすみれ / ケアハウスひまわりの外来患者様への診療を行っています。

テレワークが推奨され、オンライン診療も始まるデジタル化の昨今ですが、やはり医療の現場では患者様の生の声が最も大切な情報となります。お声掛けすると、車椅子で頷くだけの方、ベッドで笑顔で返される方、中には眼を開けることすらされない方... 様々です。患者様からの言葉は無くとも、空気からそのお声をはかり、診療の糧としています。

与えられた現在の環境を最大限に活かし、医師としての知見を携えながら、患者様とその御家族様の笑顔が叶えられるよう願っています。医師・医局の力は微力では有りますが、これからもこの風光明媚な“とよみの杜”で、他部署との忌憚りの無い情報共有・協力を進め、より質が高く、安全安心な医療の実現に努めます。

2021  
年度

# 新入職員オリエンテーション



## 上原 英且 (医局 医師)

今月から、大浜第一病院より、異動になりました。年は食っていますが、こちらの病院では全くの新人です。しばらく、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、末永く、ご指導よろしくお願いします。

## 2021年度 4月新入職員紹介

## 國場 美鈴 (5階西病棟 看護師)

体調管理をしっかり行い、常に笑顔で安心・安全な看護を提供していきたいです。よろしくお願いします。

## 仲里 亜矢子 (5階西病棟 看護師)

これまでの経験を活かせるように頑張りたいと思います。又、おもと会に貢献できるようにしたいです。

## 比屋根 里沙 (5階東病棟 看護師)

患者さんの安全、安楽を心がけた看護を行えるよう日々精進して頑張ります。よろしくお願いします。

## 大城 舞夏 (栄養給食科 調理師)

早く業務に慣れる様に頑張ります。

## 奥間 円華 (5階西病棟 介護福祉士)

沖縄で大きな病院に勤められてうれしいです。今後とも利用者の為チーム組織の一員として頑張っていきます。

## 佐久間 加奈恵 (6階病棟 看護師)

初めまして。新しい環境に慣れるまで緊張しますが頑張りたいと思います。どうぞご指導よろしくお願いします。

## 久手堅 沙和 (6階病棟 看護師)

初めまして。これから患者様や家族の方に寄り添うことのできる看護師を目指し頑張ります。お願いします。

## 大城 茉唯 (リハビリテーション科 作業療法士)

緊張や不安もありますが、一日でも早く作業療法士として皆様の力になれるよう一生懸命頑張りたいと思います。

## 東恩納 稜基 (5階西病棟 介護福祉士)

一人ひとりの利用者様が安心して快適に過ごせよう、先輩方や本人からアドバイス等を教えてもらいながら努めていきたい。

## 高志保 康文 (5階西病棟 介護福祉士)

おもと園より異動となりました。新しい職場で、これまで身に付けた知識と技術で頑張ります。

## 山口 隆史 (診療情報管理士)

診療情報管理士として病院の発展に貢献できるように頑張りたいと思います。

## 我那覇 幹 (リハビリテーション科 作業療法士)

初心を忘れず、日々成長できるように努力していきます。

## 赤嶺 洋子 (リハビリテーション科 言語聴覚士)

前職ではリハビリ教育の分野に携わってきました。これまでの経験を活かして貢献したいです。

## チャリセ スレス (6階病棟 介護補助者)

私は大浜第二病院に入りました。頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## アディカリ サントス (5階東病棟 介護補助者)

みなさんご協力しながら介護の仕事をやってみたいので、よろしくお願いいたします。

## ガルタウラ アミル (6階病棟 介護補助者)

おもと会に働いています。みなさん優しいのでわくわくして仕事しています。

## タマン ミラン (5階東病棟 介護補助者)

私は大浜第二病院 5 階東病棟で働いています。リハビリで色々な事学びました。まだ分からない事いっぱいありますが、今から覚えながら頑張ります。

## ガタニ テズ (6階病棟 介護補助者)

私は大浜第二病院にお世話になります。今年からいろんなことを学んで一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

## パリヤル アニル (5階東病棟 介護補助者)

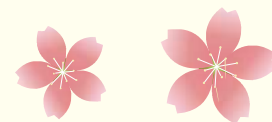
利用者の名前が漢字で書いてあるので、覚えるのが大変ですが覚えるよう頑張りに、利用者といろいろ話をしながらお世話をしていきたいです。

## ハマル キラ (5階西病棟 介護補助者)

介護の経験ないので、いろいろ教えてもらいながら頑張ります。

## マガル ダン (6階病棟 介護補助者)

勉強しながら大浜第二病院で仕事を頑張ります。



## 2020年度 回復期リハビリテーション病棟協会 研究発表会【WEB開催】

医療福祉課 ソーシャルワーカー 謝敷 奈津子

「自己決定を尊重する上での MSW の役割～本人・家族の意向が相違した事例を経験して～」と題し発表を行いました。病気などで不安や悩みを抱えた患者様やご家族の思いを尊重しながら、患者様の利益や安全を追求するには、ソーシャルワーカーとしてどのように支援すべきかを改めて見直す事が出来た機会でした。登壇発表とはまた違った緊張感で、全国各地の回復期病院での様々な取り組みや研究を聞くことができ刺激になりました。患者様・ご家族様へより質の良いリハビリや医療が提供できるように、当院でもスタッフ一丸となり尽力していきたいと思えました。

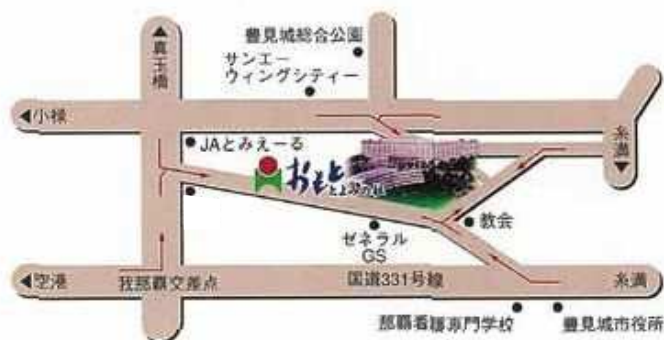


回復期リハビリテーション病棟 看護師 佐々木 麻美

高次脳機能障害患者の退院支援に対する取り組みを振り返り発表しました。近年 40～60 歳代の患者様が増えており、自宅退院を目標にするだけでなく、職場復帰も念頭においた退院支援が求められています。限られた資源の中での職場復帰に対する支援や、現在コロナ禍で面会制限が余儀なくされている中での家族との関わり方など考えることができました。WEB 上での開催でしたが、有意義なグループセッションになりました。この学びを生かし今後も良い看護を提供していきたいです。



## 沖縄初開催 第71回日本病院学会 2021年6月10日・11日 大浜第一病院主催



420台収容駐車場完備

## 編集後記

★★★★希望★★★★

広報誌のでき上がる過程の中で筆者の人柄や個性の詰まった真新しい原稿を見る・読む瞬間が一番好きです。  
‘新しい発見があるかもしれない’お手にとって頂けますと幸いです。

広報誌委員 高良

職員  
募集!!

私たちと一緒に働きませんか。ブランクのある方でも復職支援研修でサポートします。主婦の方・中高年の方も大歓迎！お電話ください。  
募集職種：薬剤師、看護師、准看護師、介護職員、調理スタッフ

TEL 098-851-0103 (総務課)



おもと会グループ  
リクルートサイト